

## 令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

## 1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	周南市新南陽老人福祉センター			所管課	高齢者支援課
所在地	周南市温田一丁目10番1号				☎ 22-8461
設置年月日	昭和54年3月31日				
設置目的	健康相談や生活相談、趣味や講座等のレクリエーション活動、機能訓練等				
施設概要	・建物構造…鉄筋コンクリート2階建 ・総床面積…718.89㎡ ・主な構成施設…事務室、会議室、機能訓練室、茶室、大広間等 平成13年改装				
指定管理者	名称	社会福祉法人周南市社会福祉協議会			
	代表者	会長 佐原 昌弘			
	所在地	周南市速玉町3番17号			
	連絡先	電話	0834-22-2115	E-mail	kanri@shunan-shakyo.or.jp
	ホームページアドレス	<a href="http://www.shunan-shakyo.or.jp">http://www.shunan-shakyo.or.jp</a>			
指定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			年数	1年間
募集方法	非公募		料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務	・老人の生活相談及び健康相談に関すること ・老人の生業及び就労の指導に関すること ・老人の機能回復訓練に関すること ・老人の教養の向上及びレクリエーションに関すること ・老人福祉センターの維持管理に関する業務 ・老人福祉センターの使用の許可に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務				

## 2. 施設の運営状況

目標管理	目標指標名		年度		R4年度	R5年度	
	延べ利用者数		目標値		13,000人	10,000人	
				実績値		—	
施設の稼働状況	利用区分等		利用目標	単位	利用実績	単位	稼働率(%)
	延べ利用者数(令和2年度)		19,000	人	11,584	人	—
	延べ利用者数(令和3年度)		15,000	人	10,910	人	—
	延べ利用者数(令和4年度)		13,000	人	13,306	人	—
指定管理業務に係る収支状況	項目		収支計画額(円)		実績額(円)		
	収入	指定管理料	9,297,000		9,922,000		
		利用料金収入					
		その他の収入	1,000		3,790		
		計	9,298,000		9,925,790		
	支出	人件費	5,304,000		5,189,694		
		物件費	2,887,000		3,698,870		
		委託料	703,000		745,437		
		その他	403,000		238,260		
		計	9,297,000		9,872,261		
参考	使用料収入						
	自主事業収入						
	自主事業経費						

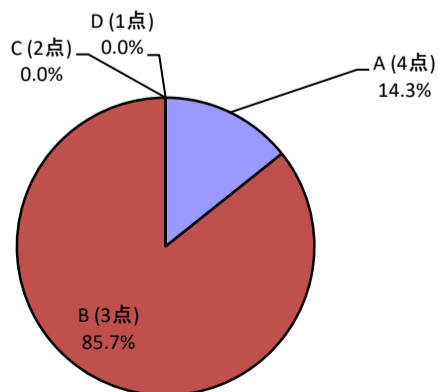
※指定管理料の実績額には、昨年度発生した急激な燃料費高騰に対する市のリスク負担分として増額支払をした625,000円が含まれます

令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【評価】

項目	評価内容	評価事項・不適切事項等	評価
施設名	周南市新南陽老人福祉センター		
指定管理者名	社会福祉法人周南市社会福祉協議会		
全体	目標の達成状況	目標を達成できている。利用者が60歳以上の高齢者ということから、介護予防・フレイル・終活・体操等、高齢者に特化した様々な講座を実施していることが利用者の増加に繋がったと分析している。	B
組織	体制・人事	配置体制は適切であり、職員に対して社協全体での研修のほか個別研修を実施して、スキルの向上に努めている。職員は利用者が参加する講座にも積極的に参加している。	B
業務	業務の運営	協定書や事業計画書等に掲げられた業務は適切に実施されている。	B
	施設の稼働状況	前年と比べて、利用者数・稼働率は増加している。介護予防・フレイル・終活・体操等、高齢者に特化した様々な講座を実施していることが利用者の増加に繋がったと分析している。	B
	施設の維持管理(清掃等)	全体的に老朽化は進んでいるが、清掃は定期的実施されており清潔に保たれている。草刈りは職員で対応している。敷地内に大きな樹木があり職員で剪定を行うことが難しいことから、剪定については協議をしている。	B
	施設の維持管理(点検・修繕等)	定期的に施設点検を実施しており、施設は安全に使用できる状態となっている。施設に不具合が発生した場合は、速やかに報告している。また、現場の状態がよく分かるようにその都度写真付きの報告書を提出している。	A
	緊急時の対応方法	適切な保険に加入している。緊急時の対応マニュアルも整備されており、救急患者が発生したときのシミュレーションも実施している。避難訓練は嶽山荘と合同で年に2回実施しているが、現在は利用者のいない朝早くに実施しているため今後は利用者も交えた避難訓練の実施を検討したい。	B
工夫意	サービス向上及び経営改善に関する取り組み	「フレイル予防」や「終活」「体操」など、様々な講座を実施している。市の出前講座だけではなく、民間の講師呼ぶことで、利用者の活動の場を広げている。また、利用者アンケートを実施して人気のある講座や反応の良い講座を把握し、企画を考案することで利用者の定着に努めている。	A
広報	PR・情報提供の実施状況	ホームページに講座の案内や実施状況を定期的に更新しており、最新の情報提供を行っている。また、利用者が高齢者のため、市広報・ふあいんど等の紙媒体や口コミでの周知が積極的に行われている。	B
相談・連携	苦情処理の状況	苦情や要望については、その都度利用者から丁寧に話を聞き、対応するようにしている。	B
	情報共有	市への報告や情報提供は適切にされている。	B
モニタリング	指定管理経費の経理事務の状況	経理会計は適切に行われている。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	調査の回答数が72件となり、十分な回答が得られている。施設に対する満足度については、「非常に満足」「おおむね満足」が約95%を占めており、高い満足度となっている。施設の備品等について一部不満の声もあるが、指定管理者と利用者の意見も参考にしながら、修繕を検討したい。	B
	書類の作成・提出	市から依頼する調査等についても、迅速に提出されている。月次報告や年次報告等についても必ず期限内に提出されており、必要な内容も備えている。	B
評価コメント	前年度と比較して、利用者は増加している。介護予防・フレイル・終活・体操等、高齢者に特化した様々な講座を実施していることが利用者の増加に繋がった。施設や設備の老朽化が進んでいるが、協議をしながら必要な修繕については実施し、安全に施設を利用できるように努めている。苦情や要望に対しては、利用者の伝えたいことを聞き取り、適切な講座につなげるなど、職員の対応の良さやサービス提供に対する満足度は非常に高い。隣接する嶽山荘と一体となり、高齢者の心身の憩いの場として、引き続き利用者の増加と満足度向上に努められたい。		総合評価 B
			平均点 3.1

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

